

「先進電動マイクロバス交通システムモデル事業」

バス交通システムの現状(バス離れ)

多くの地方都市地域では、過度のマイカー依存生活により燃料・エネルギー消費が増大するとともに、バス離れが進み輸送量が年々低下している。

モデル事業の概要(魅力的なバス交通システムの構築)

- ① 最新の電動車両技術を活用した「先進電動マイクロバスシステム」
- ② 最新のITS技術を活用した「先進デマンドバスシステム」

研究成果(往復8kmのシャトル運行)

- ① 短距離走行高頻度充電コンセプトの採用により通常の夜間充電型車両比較で、バッテリーの搭載量を約1/4(600kg軽量化)に、使用SOC幅を95%⇒40%に削減。
- ② 短頻コンセプト採用による軽量化で電費を1割改善(3.4km/kWh@平均16km/h)

- 早稲田大学
- 交通安全環境研究所
- 昭和飛行機工業

